

Phagri

2017年

9月

NO.192

ワカバ薬局

JR 守山駅東ログランドメゾン守山1F

TEL 077-583-8474

<http://www.phagri.com/>

◇◆秋口の関節痛、筋肉痛と自然との調和◆◇

河原の日当たりのよい土手でセンニンソウが満開でした。

センニンソウは毒性が強いため薬用には使ませんが、センニンソウ属には、生薬名、威霊仙（イレイセン）といって、根を「風湿の病」に使う薬草が数種類あります。



月を見る窓から入る夜風にハッとすると、満開になるセンニンソウや、突風でテントが飛ばされたというニュースを聴く初夏に軒先で見る、センニンソウ属テッセンの花は、私にとって、風湿の病を連想させるシンボルなのです。



「風湿の病」とは、リウマチ、痛風、関節痛、喘息など、体質によって寒暖差が加わった時に悪化する病気のことです。

温度差があると風が起こりますし、ビルの戸外と屋内とで温度差が大きいと、結露が起こるようなことくらいは先人も知っていたのですね。

威霊仙は、通常、初夏に咲く、シナボタンズル、カザグルマ、テッセンなどのセンニンソウ属の根を用いますが、中国では古来、本草威霊仙といって真夏に咲くクガイソウを使っていたという説もあります。



真夏の平地では、昼夜の温度差はさほどで

ありませんが、今年、開花を見たクガイソウの自生地は、標高1600メートルの湿原でした。真夏とはいえ、寒暖差のある高原で、むしろ風湿を好むように咲くクガイソウには、風湿の邪気をモノともしないエネルギーのようなものを感じました。



威霊仙を含む漢方薬には疎経活血湯（散痛楽々丸）があります。

風湿の病に使う身近な薬草には、秋になると里山でよく見るシシウド（唐独活）もあります。シシウドは疲れやすく、足が冷えやすい方の腰痛、関節痛、しびれ、痛みに用いられ、代表的な漢方薬に独歩顆粒（独活寄生湯）があります。
(虫の一分)

